＜平成 29 年度　男川小学校の研究実践＞

Ⅰ「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」指定校

学校での歯・口の健康づくりのねらい　（文部科学省学校歯科保健参考資料より）

学校における歯・口の健康づくりの目標は，子どもが発達の段階に応じて自分の歯・口の健康課題を見つけ，課題解決のための方法を工夫・実践し，評価できるようにし，生涯にわたって健康な生活を送る基礎を培うとともに，自ら進んで健康な社会の形成に貢献できるような資質や能力を養うことにある。具体的には次の3つの目標が挙げられる。

(1)　歯・口の健康づくりに関する学習を通して，自らの健康課題を見つけ，それをよりよく解決する方法を工夫・実践し，評価して，生涯にわたって健康の保持増進ができるような資質や能力を育てる。

(2)　歯・口の健康づくりの学習を通じて，友人や家族など他人の健康にも気を配り，自他ともに健康であることの重要性が理解できるようにする。

(3)　健康な社会づくりの重要性を認識し，歯・口の健康づくりの活動を通じて，学校，家庭および地域社会の健康の保持増進に関する活動に進んで参加し，貢献できるようにする。

平成 29 年度・30 年度の推進学校としての指定を受けています。「８０２０」目指して、歯と口の健康づくりを生涯にわたって築いていく生活習慣づくりを進めています。

【全国小学生歯みがき大会参加】

６月４日～６月１０日は「歯と口の健康週間」です。これに合わせて、全国小学生歯みがき大会が行われています。

６月５日（月）の５時間目、本校の５年生の子供たちが歯みがき大会に参加しました。歯と口の健康を守るために、ＤＶＤを視聴したり実物を使ったりしながらみんなで学習しました。子供たちは、歯の正しい磨き方を身に付けようと、真剣に取り組むことができました。これからも歯を大切にしてほしいです。

歯みがき大会に参加

【学校保健委員会】

６月、児童保健委員会の子供たちが、男川っ子の生活について、アンケート結果を発表しました。そして、「おとなも子供も ８０２０　～歯と口の健康について見直そう～」をテーマに、講師の犬飼順子先生（愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科教授）からお話を聞きました。虫歯や歯周病の予防について具体的に教えていただきました。

学校保健委員会での講演

【歯と口の健康・保健指導】

クラスごとに保健指導

本年度、男川小学校では、歯と口の健康づくり推進事業に取り組んでいます。夏休み中もご家庭で歯磨きカレンダーに取り組んでいただき、ありがとうございました。

2学期開始早々、身体測定の時間を利用して、養護教諭が各学年の発達段階に応じた内容で「歯と口の健康」についての保健指導を行いました。2学期も、給食後の歯磨きや磨き残しチェックなどを通して、子供たちに「８０２０」を意識した歯と口の健康習慣を身に付けていけるように取り組んでいきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

Ⅱ「岡崎市小学校タブレットＰＣ活用パイロット校」指定校

岡崎市教育委員会より、タブレットＰＣ活用パイロット校の指定を受け、小学校での日常的なタブレットＰＣの活用実践を進めています。

体育「マット運動」での活用

理科「月の形・動き」で活用

Ⅲ「論理的思考をはぐくむ授業づくり　はじめの一歩」ちゅうでん研究助成実践校

ちゅうでん研究助成実践校として、2020 年度に完全実施される新学習指導要領で示された「プログラミング学習のはじめの一歩」を踏み出しました。教員研修やアンプラグドによるプログラミング学習など、一歩一歩実践を進めています。2 月には、情報通信総合研究所 特別研究員・平井聡一郎先生をお招きして、校内授業研究も行う予定です。

夏休みの校内研修（平井先生）

【６・７組　生活単元「わすれものだいじょうぶ？」（交流会の持ち物）】

アンプラグドの授業

展開：①昨年のブロック交流会の写真を見る。
（思い出し、意欲喚起）
②一人ひとり付箋に「持ち物」を書き出す。
（書き方は一人ひとり味がある）
③発表して、黒板に持ち物を見える化する。
（思考の共有）
④持ち物を見直す視点を示す。
「もしも〇〇だったら」何がいるか？
みんなで考える。（条件が変わることへの対応を考える高度な思考）
⑤一人ひとり、自分の持ち物をワークシートにまとめる。（条件付けあり）

思考：経験から問題解決に必要なものを考える。条件の変更「もしも〇〇だったら」への対応を考える。条件による取捨選択を判断する。